

日本文学研究ジャーナル

Academic Journal of Japanese Literature

特集 近代の文学 —創造の契機、創作の端緒— (編集/宗像和重・安藤 宏)

2019年3月
第9号
目次

巻頭エッセイ

鷗外はアイヌの少女・知里幸恵に会ったか

山崎一穎……………2

挿絵無用論と明治中期の絵入り新聞小説

— 饗庭篁村「小町娘」・尾崎紅葉「笛吹川」・青葡萄の挿絵 —

出口智之……………12

もう一つの『文章世界』——臨時・定期増刊号を中心に——

宗像和重……………27

萩原朔太郎と自由詩——ニーチェ受容の意義——

大嶋さやか……………41

〈歌詞テキスト〉の戦前・戦中

— NHKラヂオ・テキスト『国民歌謡』とその周辺 —

小林洋介……………54

太宰治「女の決闘」論

安藤 宏……………66

出版市場と作品批評——三島由紀夫『潮騒』——

藤田 佑……………80

戦争裁判が甦る契機

— 木下順二「神と人とのあいだ」を手掛かりに —

金ヨンロン……………93

木村友祐「イサの氾濫」の改稿

— フラットな破局の後を生きる生 —

尾崎名津子……………111

連載

日々是探索〜古筆切・写本・たまに版本〜第八回
元禄八年刊『新撰古筆手鑑』——古筆の模刻資料その一——

久保木秀夫……………125